



## 退任のご挨拶

横河電機健康保険組合

前理事長 菅田 学

この度私は理事長職を退任いたしました。在任中は、皆さま方の多大なご支援、ご協力を賜りまして、健康保険組合の発展に微力ながら尽くすことができましたことに厚くお礼申し上げます。

さて在任中の1年間を振り返ってみますと、健康保険組合を取り巻く状況は一段と厳しさを増しており、一昨年に米国に端を発した世界規模の長期的な経済不況や高齢者医療制度による支援金、納付金の大幅な負担増は、健康保険組合の財政に大きな影響を与え、全健康保険組合の約9割が赤字運営を余儀なくされています。

当健康保険組合でも、平成16年度より保険料率を56/1000に引き下げ、別途積立金という貯金を取り崩すことを前提とした、赤字運営を行ってきました。しかし、別途積立金がなくなり、現在の保険料率を維持することが困難になってしまったため、被保険者の皆さまと事業主にもご協力を頂き、平成22年度では保険料率を上げさせていただきました。

また一方では、薬剤費の削減を目的としたジェネリック医薬品利用促進の個人通知や、前期高齢者の医療費削減を目的とした、前期高齢者訪問健康相談を新たにスタートいたしました。また、人間ドックをはじめとする疾病予防事業を進めるなかで、特定健診受診率、特定保健指導実施率の一層の向上を図ることにより、一次予防を基本理念とした保健事業を進め、皆さまの健康づくりを目指してまいりました。一人ひとりの健康の保持増進をサポートし、安心して医療を受けられるという、健康保険組合としての本来の役割に、多少なりとも寄与できたのではないかと考えております。

今後も健康保険組合にとりまして厳しい環境が続くことが予想されますが、後任の横河電機株式会社人財部長の山崎正晴氏のもと、横河電機健康保険組合が健全な発展を遂げていくことを祈念しております。

最後になりましたが、皆さまより頂きましたご協力とご厚情に改めて感謝申し上げますとともに今後も皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げて、退任のご挨拶いたします。